

経営比較分析表（令和4年度決算）

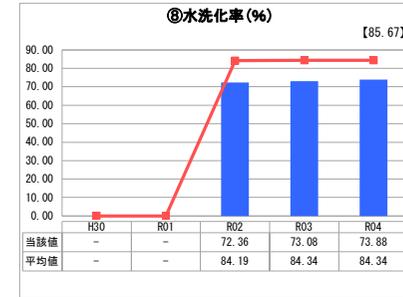
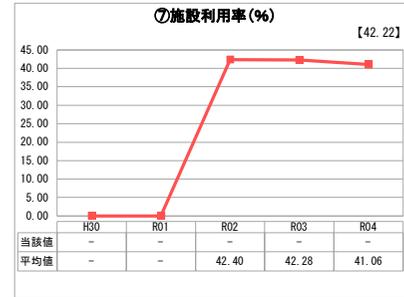
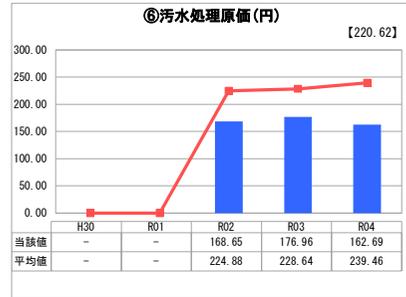
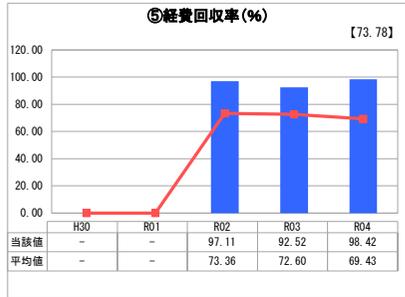
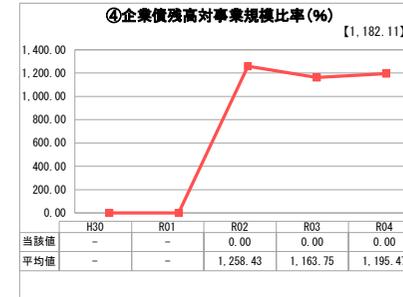
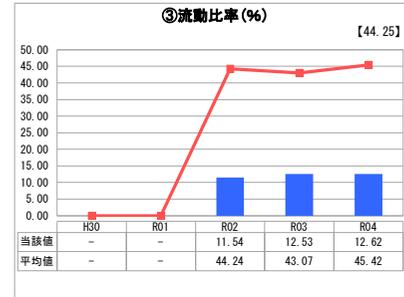
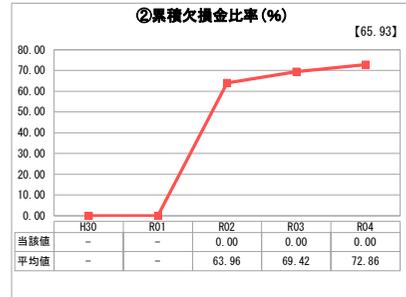
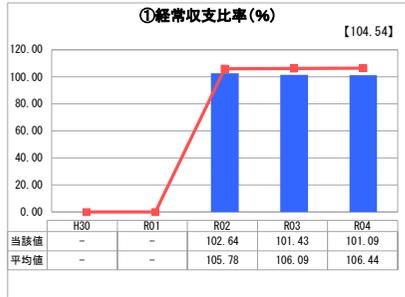
山形県 村山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.85	21.45	79.67	3,300

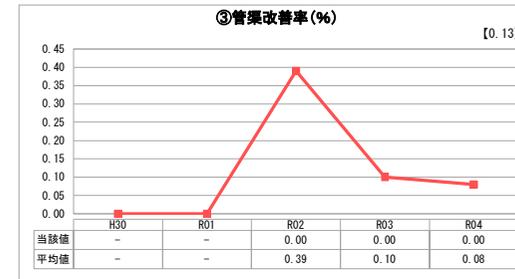
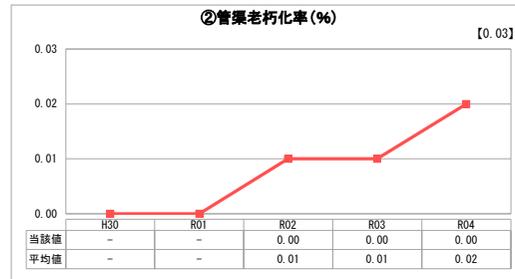
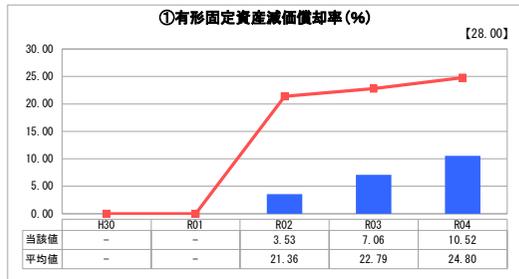
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,232	196.98	112.86
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,739	2.38	1,991.18

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
[]	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析標

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率
100%を上回っているが、多くを一般会計からの繰入金で賄っている。維持管理費の削減など経営改善に務めていく必要がある。
- ② 累積欠損金比率
0%であり、経営の健全性が確保されている。
- ③ 流動比率
企業債償還金等が多く低い値になっている。新たな企業債の発行等を抑えていく必要がある。
- ④ 企業債償還高対事業規模比率
企業債は原則一般会計の負担としているため表示されない。
- ⑤ 経費回収率
類似団体平均より高い水準にあるが、繰入金に依存した経営状況にあり、汚水処理費用の削減等にに取り組む必要がある。
- ⑥ 汚水処理原価
類似団体平均より低い値となっているが、引き続き処理経費削減等に務めていく必要がある。
- ⑦ 施設利用率
県営処理施設での処理のため表示されない。
- ⑧ 水洗化率
年々少しずつ水洗化率が上昇している。引き続き未接続世帯への普及活動を継続していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
法定耐用年数を経過しているものがないため、低い値となっている。
今後、施設の修繕・更新工事等の増加が見込まれるため、老朽化対策等について検討する必要がある。
- ② 管渠老朽以下率、③ 管渠改善率
法定耐用年数を経過したものがいないため、表示されない。

全体総括

人口減少など需要減少傾向が見込まれ、反対に施設老朽化が進み維持管理費がかさむという厳しい状況が続くことが予想される。一般会計繰入金に依存する経営状況が続き、企業債償還と借入のバランスに留意し、企業債償還の縮減に務めていく必要がある。
経営戦略の改定を行うなど、引き続き経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に務めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。